

『人口問題研究』第62巻総目次（2006年）

著者	論文タイトル	号[通巻]	刊行年	ページ
特集：「世代とジェンダー」の視点から見た少子高齢社会の国際比較研究 その2				
津谷典子	わが国における家族形成のパターンと要因	1・2[257]	2006. 6.30	1-19
岩間暁子	女性の就業が出生意欲に及ぼす影響のジェンダー比較	1・2[257]	2006. 6.30	20-34
特集：わが国における近年の人口移動の実態－第5回人口移動調査の結果より－その1				
西岡八郎	特集に寄せて－第5回人口移動調査について－	4 [259]	2006.12.15	1-2
千年よしみ	夫婦移動と有配偶女性の就業	4 [259]	2006.12.15	3-19
小池司朗	出生行動に対する人口移動の影響について－人口移動は出生率を低下させるのか？－	4 [259]	2006.12.15	20-40
研究論文				
石井太	確率統計による将来人口推計の不確実性の評価について	3 [258]	2006. 9.15	1-20
清水昌人	On the Quantum and Tempo of Net Migration	4 [259]	2006.12.15	41-60
研究ノート				
石井太	わが国の平均寿命の動向と死亡率推計モデルの検討	3 [258]	2006. 9.15	21-30
資料				
西岡八郎, 小山泰代, 星敦士, 白波瀬佐和子	現代日本の家族変動－第3回全国家庭動向調査（2003年）の結果より－	1・2[257]	2006. 6.30	35-62
金子隆一, 釜野さおり, 大石亜希子, 佐々井司, 岩澤美帆, 池ノ上正子, 三田房美, 守泉理恵	第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査－夫婦調査の結果概要－	3 [258]	2006. 9.15	31-50
西岡八郎, 鈴木透, 小山泰代, 清水昌人, 山内昌和	現代日本の世帯変動－第5回世帯動態調査（2004年）の結果より－	3 [258]	2006. 9.15	51-76
金子隆一, 釜野さおり, 大石亜希子, 佐々井司, 池ノ上正子, 三田房美, 岩澤美帆, 守泉理恵	第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査－独身者調査の結果概要－	4 [259]	2006.12.15	61-80
統計				
石川晃	主要国人口の年齢構造に関する主要指標：最新資料	3 [258]	2006. 9.15	77-86
石川晃, 別府志海	主要国女子の合計特殊出生率：1970年以降最新年次	3 [258]	2006. 9.15	87-93
石川晃	全国人口の再生産に関する主要指標：2005年	4 [259]	2006.12.15	81-90
石川晃	都道府県別標準化人口動態率：2005年	4 [259]	2006.12.15	91-96
石川晃	都道府県別女子の年齢（5歳階級）別出生率および合計特殊出生率：2005年	4 [259]	2006.12.15	97-102

書評・紹介

- 鈴木透 Gianpiero Dalla Zuanna and Giuseppe A. Micheli 1・2[257] 2006. 6.30 63-64
 (eds.), "*Strong Family and Low Fertility: A Paradox?*", Dordrecht, Netherlands, 2004, 178pp. (European Studies of Population, Vol.14)
- 杉野元亮 大淵寛・阿藤誠編著『少子化の政策学』原書房, 2005年4月, 282pp. (人口学ライブラリー3) 1・2[257] 2006. 6.30 65-65
- 早瀬保子 嚴善平『中国の人口移動と民工 マクロ・ミクロ・データに基づく計量分析』勁草書房, 2005年11月, 274pp. 1・2[257] 2006. 6.30 66-66
- 福田亘孝 Hans-Peter Blossfeld and Andreas Timm(eds.), "*Who Marries Whom? Educational Systems as Marriage Markets in Modern Societies*", Dordrecht, Netherlands, 2003, 355pp. (European Studies of Population, Vol.12) 3 [258] 2006. 9.15 94-94
- 浜野潔 Tommy Bengtsson, Cameron Campbell, James Z. Lee, et al.(eds.), "*Life Under Pressure: Mortality and Living Standards in Europe and Asia, 1700-1900*", Cambridge, MA, MIT Press, 2004, 544pp. (The MIT Press Eurasian Population and Family History Series) 3 [258] 2006. 9.15 95-95
- 小池司朗 江崎雄治著『首都圏人口の将来像—都心と郊外の人口地理学』専修大学出版局, 2006年3月, 182pp. 3 [258] 2006. 9.15 96-96
- 石井太 Nathan Keyfitz and Hal Caswell (eds.), "*Applied Mathematical Demography: Third Edition*", New York, Springer, 2005, 577pp. 4 [259] 2006.12.15 103-103
- 西川由比子 Murayama, Mayumi (ed.), "*Gender and Development: The Japanese Experience in Comparative Perspective*", Basingstoke, Palgrave Macmillan, 2005, 288pp. 4 [259] 2006.12.15 104-104
- 駒井洋 吉田良生・河野綱果編『国際人口移動の新時代』原書房, 2006年5月, 275pp. (人口学ライブラリー4) 4 [259] 2006.12.15 105-105